

シンビジウム 7月の管理について

1 かん水

エルメコノズル等を利用した頭上かん水を主体とし、水のかかりが悪いところはホースによる手かん水を併用してかん水ムラを防ぎます。

回数は毎日1回又は朝夕2回で、時間はエルメコノズルで15分間を目安とし、鉢底から水が十分に流れる程度にたっぷり与えます。回数やかん水時間は、品種やリードの生育状況により加減してください。

2 施肥

開花株は油カスを月1回、7号鉢で20g、8号鉢で30gを基準に施用します。

ロング等の緩効性被覆肥料も利用でき、3～6ヶ月に1回の施用でよいため省力的です。

施肥量は窒素成分量で、その期間中に与える油カスと同程度を目安とします。

3 光線管理

葉焼けを起こさないよう、立ち葉系品種では30%程度、垂れ葉系品種では40%程度の遮光を行います。

遮光資材は、風通しの良いものを用いましょう。

4 病虫害対策

鉢間隔を広くし風通しを良くするほか、窒素過多で軟弱にならないよう注意するとともに、過湿にならないような管理を心がけましょう。